

平成24年度近畿府県合同防災訓練実施概要

「近畿2府7県危機発生時の相互応援に関する基本協定」並びに「関西防災・減災プラン」に基づく合同防災訓練を次のとおり兵庫県で実施し、防災関係機関の連携や広域防災体制の充実強化を図った。

1 今回の訓練の特徴

- (1) 関西防災・減災プランを踏まえた初めての実動訓練
- (2) 陸路、空路、海路を一体的に活用した広域かつ大規模な訓練
- (3) 東日本大震災の教訓を踏まえた住民参加による津波避難訓練や防潮扉閉鎖の同時実施

2 訓練日・場所等

(1) 近畿府県合同防災訓練

区分	合同防災訓練	住民参加型訓練
日時	10月28日(日)9:00~13:00	10月28日(日)9:00~12:30
場所	神戸空港島 (メイン会場・神戸空港)	神戸市、明石市、洲本市、南あわじ市、淡路市、播磨町
訓練内容	東海・東南海・南海地震を想定し、近畿ブロックの関係機関が一体となった実動訓練を実施	東海・東南海・南海地震を想定し、住民避難訓練や防潮門扉の閉鎖訓練等を実施
参加規模	約180機関 約3,000人	6市町 約15,000人

(2) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練

日時	10月27日(土)~28日(日)	
	27日9:00~28日9:00(第1部)	28日9:00~13:00(第2部)
場所	県広域防災センター・姫路市消防局	神戸空港島
訓練内容	山崎断層帯地震を想定した参集訓練や野営訓練などを実施	東海・東南海・南海地震を想定し、近畿府県合同防災訓練に参加
参加規模	約600人	

3 主催者

(1) 近畿府県合同防災訓練

兵庫県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、徳島県

(2) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練

主催：総務省消防庁、兵庫県、兵庫県下消防長会

共催：福井県消防長会、三重県消防長会、滋賀県消防長会、京都府消防長会、大阪府下消防長会、奈良県消防長会、和歌山県消防長会、徳島県消防長会

(3) 住民参加型訓練

神戸市、明石市、洲本市、南あわじ市、淡路市、播磨町

4 参加機関

関西広域連合、兵庫県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、徳島県、神戸市、明石市、洲本市、南あわじ市、淡路市、播磨町、県下各消防本部、近畿2府6県緊急消防援助隊、広域緊急援助隊、兵庫県警察、消防庁、自衛隊、海上保安庁、近畿地方整備局、大阪航空局、神戸海洋気象台、日本赤十字社、関西電力、大阪ガス、NTT、加藤汽船等 約180機関

5 参加航空機、船舶、車両

航空機 固定翼：2機（航空自衛隊「C-1輸送機」、「C-130H輸送機」）

回転翼：17機（徳島県・大阪府ドクターヘリ 等）

船舶 大型船：2艇（海上自衛隊護衛艦「ひゅうが」、海上保安庁巡視船「せつづ」）

小型船：11艇（加藤汽船高速船「しゃるまん」 等）

車両 約180台（緊急消防援助隊、県トラック協会 等）

6 訓練内容

(1) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（27日）

時間	訓練内容
27日 9:00 ~	図上訓練（情報伝達・調整本部等設置運営） 初動訓練（出動訓練・参集訓練）
28日 9:00	野営訓練

(2) 近畿府県合同防災訓練（28日）

神戸空港島（メイン会場等）		住民参加型訓練（神戸市兵庫区会場の例）（注）	
時間	訓練内容	時間	訓練内容
09:00	災害対策本部等設置訓練 情報収集訓練	09:00	情報伝達訓練 防潮門扉閉鎖訓練 避難誘導、要援護者避難訓練
09:30	避難誘導訓練（空港ターミナル） 救出救助訓練 ・多重衝突・毒劇物漏洩事故訓練 ・ビル倒壊事故、トンネル事故対応訓練 ・大規模街区・洋上火災消火訓練 ・洋上漂流者救助訓練 等 広域応援訓練 ・救援物資等搬送訓練 等 医療救護訓練 ・（洋上）救護所設置運営訓練 ・SCU（広域医療搬送拠点）設置訓練 ・重篤患者搬送訓練 等 ライフライン復旧訓練 展示訓練	10:30	応急救護訓練 救援物資搬送訓練 救援物資配布訓練 重篤患者搬送訓練 体験型訓練 起震車・煙道・給水体験 防災啓発展示
12:00	閉会式（知事講評等）	12:30	閉会式 （注）ホームズスタジアム神戸、湊川公園で同時開催
			【その他の住民参加型訓練実施市町】 ・明石市（9:00～11:30 二見小学校） ・洲本市（9:00～12:00 防災公園他） ・南あわじ市（8:00～10:00 湊小学校他） ・淡路市（9:00～11:30 北淡中学校） ・播磨町（8:50～11:30 大中遺跡公園他）

淡路全島ほか県南部沿岸で防潮門扉の一斉閉鎖訓練を実施